

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成29年9月26日
文教委員会資料
指導課

1 調査日時
平成29年4月18日(火)

2 調査対象
小学校(義務教育学校前期課程含む) 第6学年
中学校(義務教育学校後期課程含む) 第9学年

3 調査児童・生徒数 ()内は本区
第6学年 999,683人(2,215人)
第9学年 982,511人(1,498人)

4 調査内容

(1)教科に関する調査

- 主として「知識」に関する問題
〔国語A、算数・数学A〕
- 主として「活用」に関する問題
〔国語B、算数・数学B〕

(2)生活習慣や学習環境に関する調査

- 児童・生徒質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- 学校質問紙調査
指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況に関する調査

【参考】上位自治体および東京都の結果
(順位と正答率)

＜小学校＞		東京	
国語A	秋田 80% 1位	青森 79% 2位	10位
国語B	秋田 64% 1位	広島 61% 3位	4位
算数A	石川 85% 1位	秋田 84% 2位	7位
算数B	石川 53% 1位	福井 51% 2位	5位

＜中学校＞		東京	
国語A	秋田 82% 1位 石川 福井	富山 80% 4位	5位
国語B	秋田 78% 1位	石川 77% 2位 福井	6位
数学A	福井 73% 1位	石川 69% 2位	10位
数学B	福井 54% 1位	石川 53% 2位	5位

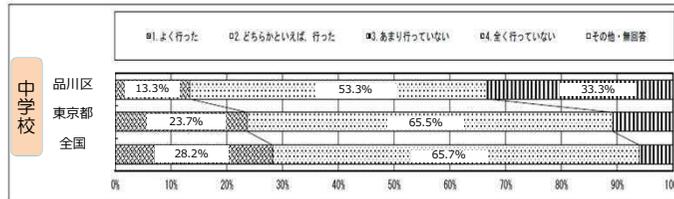
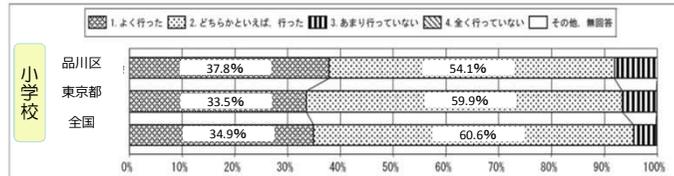
5 教科に関する調査の結果の概要 (正答率)

小学校	品川区	東京都	全国	中学校	品川区	東京都	全国
国語A	78%	76%	75%	国語A	78%	79%	77%
国語B	62%	60%	58%	国語B	74%	74%	72%
算数A	84%	81%	79%	数学A	67%	66%	65%
算数B	53%	49%	46%	数学B	51%	50%	48%

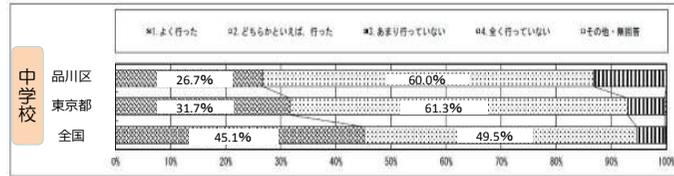
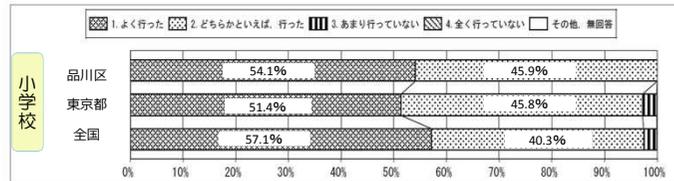
○ 小学校では全ての調査において、全国および東京都の平均正答率を上回っている。中学校では、国語Aにおいて東京都の平均正答率を若干下回った。

6 学校質問紙調査の結果概要

○様々な考え方を引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。



○学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。

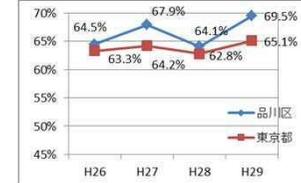


○ 小学校では、様々な考え方を引き出すような発問の工夫や、話し合いを取り入れた授業を多く行っているが、中学校では、あまり行っていない傾向が見られる。全国や東京都と比べて大幅に下回っている。

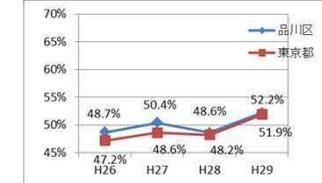
7 児童・生徒質問紙調査の結果概要

○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。(肯定的な回答の割合)

＜小学校＞

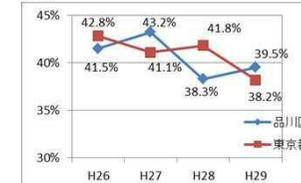


＜中学校＞

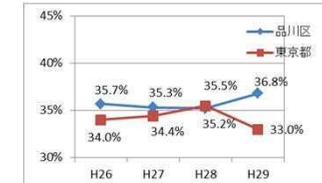


○家で、学校の授業の予習をしていますか。(肯定的な回答の割合)

＜小学校＞

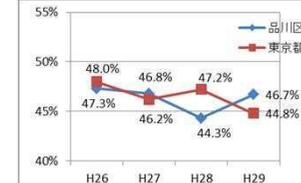


＜中学校＞



○家で、学校の授業の復習をしていますか。(肯定的な回答の割合)

＜小学校＞



＜中学校＞



○ 小学校、中学校ともに、計画的な学習や予習・復習をしていると回答した割合が昨年度より上昇した。いずれも東京都を上回っている。

8 考察

＜小学校＞

授業の工夫と家庭学習の充実が良好的な結果を導いた要因の一つと言える。また、全ての調査において、記述式の無解答率が、全国や東京都よりも低い。

＜中学校＞

調査結果は概ね良好であるが、言語活動の充実など一層の授業改善が求められる。また、「国語A」では、古典や書写の基礎的事項の定着に課題が見られた。

＜共通＞

「自尊心が高い」「学校の規則を守っている」「友達の約束を守っている」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」「家の人とは、授業参観や運動会などの行事に来る」と回答した児童・生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高い傾向がある。

平成29年度「全国学力・学習状況調査」
において特に課題の見られた問題

月は、地球のまわりを回りながら、地球に近づいたり、はなれたりしています。月の大きさは実際には変わりませんが、月が地球に最も近づいたときに、最も大きく見え、地球から最もはなれたときに、最も小さく見えます。地球から見える満月を円とみて、最も大きく見えるときの見かけの直径を「最大の満月の直径」、最も小さく見えるときの見かけの直径を「最小の満月の直径」ということにします。

「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べたとき、「最小の満月の直径」をもとにすると、「最大の満月の直径」は約14%長いです。



最も小さく見えるとき
(イメージ)



最も大きく見えるとき
(イメージ)

月の直径を、硬貨の直径に置きかえて考えます。

1円玉、100円玉、500円玉の直径は、それぞれ下のとおりです。

1円玉	100円玉	500円玉
20 mm	22.6 mm	26.5 mm

(2) 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最小の満月の直径」をもとにして14%長くなっている「最大の満月の直径」は、100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、選んだ硬貨のほうが「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1 100円玉
- 2 500円玉

設問の概要	区分	正答率	解答類型									無解答
			◎1	○2	3	4	5	6	7	8	9	
与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係をつえ、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く	品川区	25.9	6.3	19.6	0.0	0.0	2.9	26.1	4.5	32.4	2.0	6.1
	東京都	19.2	4.6	14.7	0.1	0.0	4.0	26.9	5.6	32.8	2.3	9.0
	全国	13.2	2.2	11.0	0.1	0.0	4.7	28.3	5.5	36.8	2.6	8.7

(正答の条件)

- 番号を1と選び、次のAまたはBまたはCのいずれかで、それぞれA①、A②の全てまたはB①、B②の全てまたはC①、C②の全てを書いている。
- A 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときの「最大の満月の直径」に当たる値を求め、求めた値と100円玉、500円玉それぞれの直径の違いを基に、わけを書いている。
- A① 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときの「最大の満月の直径」に当たる値を求める式や言葉とその答え
- A② 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときの「最大の満月の直径」に当たる値と100円玉、500円玉それぞれの直径の差
- B 1円玉の直径を基にしたときのそれぞれの硬貨の直径の割合を求め、求めた割合と1.14倍の違いを基に、わけを書いている。
- B① 1円玉の直径を基にしたときの、100円玉と500円玉それぞれの直径の割合を求める式や言葉
- B② 1円玉の直径を基にしたときの、100円玉と500円玉それぞれの直径の割合と1.14の違いを表す数や言葉
- C 「最大の満月の直径」を100円玉、500円玉それぞれの直径としたときの「最小の満月の直径」に当たる値を求め、求めた値と1円玉の直径の違いを基に、わけを書いている。
- C① 「最大の満月の直径」を100円玉、500円玉それぞれの直径としたときの「最小の満月の直径」に当たる値を求める式や言葉
- C② 「最大の満月の直径」を100円玉、500円玉それぞれの直径としたときの「最小の満月の直径」に当たる値と1円玉の直径の違いを表す数や言葉

	番号	わけ
1	◎	A①、A②の全てを書いているもの B①、B②の全てを書いているもの C①、C②の全てを書いているもの
2	○	A①を書いているもの B①を書いているもの C①を書いているもの
3		100円玉や500円玉の直径の86%に当たる大きさを考えているもの
4	1と解答	「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときの「最大の満月の直径」に当たる値を次のように求めているもの $20 \div 1.14$ 、 $20 + 1.14$ 、 $20 - 1.14$
5		「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときの「最大の満月の直径」に当たる値を次のように求めているもの 20×0.14 、 $20 + 0.14$ 、 $20 - 0.14$ $20 \div 1.4$ 、 $20 + 1.4$ 、 $20 - 1.4$ $20 \div 14$ 、 $20 - 14$
6		類型1から類型5以外の解答 無解答
7	2と解答	「最大の満月の直径」を1円玉の直径としたときの「最小の満月の直径」に当たる値を次のように求めているもの $20 \div 0.14$ 20×1.4 20×14 、 $20 + 14$
8		類型7以外の解答 無解答

学習指導要領における領域・内容

〔第3学年〕C 図形

(1)ウ 円、球について知ること。また、それらの中心、半径、直径について知ること。

〔第5学年〕D 数量関係

(3)百分率について理解できるようにする。

★ 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断することができず、その結果、判断の理由を記述することができていない。

六 書写の時間に「和」という字を次のように行書で書きました。これを見て、あとの問いに答えなさい。



1 楷書と比較したときの行書の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 楷書とは異なり、毛筆で書くことができる書体。
- 2 楷書とは異なり、筆脈を意識せずに書くことができる書体。
- 3 楷書よりも点画を崩さずに書くことができる書体。
- 4 楷書よりも速く書くことができる書体。

設問の概要	区分	正答率	解答類型				無回答
			1	2	3	④	
楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する。	品川区	39.6	20.1	26.8	12.1	39.6	1.4
	東京都	52.1	14	23.1	9.5	52.1	1.3
	全国	49.6	17.9	21.6	9.8	49.6	1

学習指導要領における領域・内容
 [第1学年][伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]
 (2)書写に関する事項
 イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。

★ 行書と楷書の違いが理解できていない。

七 次は、兼好法師が書いた「徒然草」の【冒頭の部分】とその【現代語訳】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

つれづれなるままに、日暮らし、硯すずりにむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

【現代語訳】

何もすることがないままに、一日中、硯すずりに向かつて、心に次々と浮かんでは消えていくとりとめのないことを、ただなんとなく書き付けていると、不思議と気持ちが高ぶってくることであるよ。

1 線部「あやしう」の意味を【現代語訳】の中から抜き出しなさい。

2 「徒然草」の作品の種類として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 随筆
- 2 漢文
- 3 物語
- 4 和歌

設問の概要七-(1)	区分	正答率	解答類型		無回答
			◎1	9	
「徒然草」の中の語句の訳を抜きだす。(あやしう)	品川区	76	76	19.7	4.3
	東京都	78.3	78.3	17	4.8
	全国	77.2	77.2	18.9	3.9

1	◎	「不思議」と解答しているもの * 「不思議」と解答しているものも正答とする。
9		上記以外の解答
0		無解答

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

ア 伝統的な言語文化に関する事項

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

★ 古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えることができていない。

設問の概要七-(2)	区分	正答率	解答類型				無回答
			◎1	2	3	4	
「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	品川区	77.3	77.3	3.1	6.7	11.1	1.7
	東京都	78.5	78.5	2.9	6.5	10.5	1.6
	全国	78.5	78.5	2.5	7.7	10	1.3

学習指導要領における領域・内容

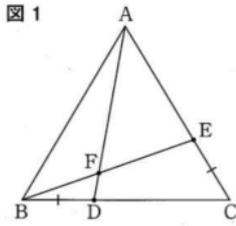
〔第1学年〕〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

ア 伝統的な言語文化に関する事項

(イ) 古典には様々な種類の作品があることを知ること。

★ 「徒然草」が「枕草子」「方丈記」と並ぶ三大随筆の一つであるという基礎的な知識が身に付いていない。また、古典のジャンルの違いを理解していない。

- 4 下の図1のように、正三角形ABCの辺BC, CA上にBD = CEとなる点D, Eをそれぞれとります。また、線分ADと線分BEの交点をFとします。ただし、点Dは点B, Cと、点Eは点C, Aと重ならないものとします。



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 図1において $\triangle ABD \cong \triangle BCE$ を示し、それをもとにして、 $\angle BAD = \angle CBE$ であることが証明できます。 $\angle BAD = \angle CBE$ となることの証明を完成しなさい。

証明

$\triangle ABD$ と $\triangle BCE$ において、

合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BAD = \angle CBE$

設問の概要	区分	正答率	解答類型									無解答
			◎1	○2	◎3	○4	5	6	7	8	9	
2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する。	品川区	42.5	42.5	5.9	0	1.7	2.2	2.7	4.3	3.4	19.2	18.2
	東京都	43.1	43.1	5.8	0	1.9	2.7	3.1	3.7	3.5	18.4	17.9
	全国	36.9	36.9	5	0	2.2	2.6	3.5	4.8	4.0	20.7	20.3

(正答の条件)

次の(a), (b), (c), (d)とそれぞれの根拠を記述し、証明しているもの。なお、ここで根拠として求める記述は、正答例に記述されている程度のものとする。

- (a) $BD = CE$
- (b) $AB = BC$
- (c) $\angle ABD = \angle BCE$
- (d) $\triangle ABD \cong \triangle BCE$

1	◎	(a), (b), (c), (d)とそれぞれの根拠を記述しているもの。
2	○	(a), (b), (c), (d)の表現が十分でなかったり、記号を書き忘れていたりするが、証明の筋道が正しいとわかるもの。(a), (b), (c), (d)の根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でなかったりするものを含む。)
3	◎	上記1, 2以外で、正しく証明しているもの。
4	○	上記3について、根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でなかったりするが、証明の筋道が正しいとわかるもの。(表現が十分でなかったり、記号を書き忘れていたりするものを含む。)
5		上記1~4で、根拠に誤りがあるもの。
6		仮定として、 $\angle BAD = \angle CBE$ を用いているもの。
7		上記6以外で、仮定とされていないものを用いているもの。
8		(a)のみを記述しているもの。または、(a), (d)について記述しているもの。
9		上記以外の解答
0		無解答

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕B 図形

- イ 証明の必要性和意味及びその方法について理解すること。
- ウ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。

★ 合同の性質を利用し、対応する角が等しいことを筋道を考えて説明することができていない。また、無回答率も高い。